

平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月2日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL http://www.daytona.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)杉村 靖彦 (TEL) 0538(84)2200
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(個人投資家向け)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	2,953	6.1	146	5.2	123	△11.5	73	△12.2
27年12月期第2四半期	2,784	0.2	139	5.0	139	7.6	83	14.3

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 73 百万円 (△3.4%) 27年12月期第2四半期 76 百万円 (7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	34.95	34.66
27年12月期第2四半期	39.83	39.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	4,475	1,942	43.3
27年12月期	4,308	1,897	44.0

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 1,939 百万円 27年12月期 1,897 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年12月期	—	0.00			
28年12月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,218	6.6	325	23.4	323	23.0	220	—	104.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社(社名) 、除外 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	3,604,600株	27年12月期	3,602,600株
28年12月期2Q	1,497,972株	27年12月期	1,497,972株
28年12月期2Q	2,105,671株	27年12月期2Q	2,104,628株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性が高まる中、円高の進行、原油価格の低迷、また、熊本地震の発生など景気の先行き不透明感が高まる状況でした。

二輪車業界では、春の訪れと共に、各地でイベントが開催され、休日には多くのライダーの姿も見られるなど、本格的なバイクシーズンを迎えました。

二輪車業界では、春の祭典、東京モーターサイクルショーを皮切りに、本格的なバイクシーズンに入り、各地で多くのライダーの姿を見かけるようになりました。

当社グループにおいては、国内拠点卸売事業および小売事業の売上が好調であったことで売上高は前年同四半期を上回りました。利益面では販管費の増加により前年同四半期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は29億53百万円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益は1億46百万円（前年同四半期比5.2%増）、経常利益は円高の進行等による為替差損が発生したため1億23百万円（前年同四半期比11.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円（前年同四半期比12.2%減）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、商品区分としてはツーリング関連用品、メンテナンス用品などの販売が好調でした。また、販路では引き続きWeb通販業者向けへの販売は大きく伸長しておりますが、既存卸商への出荷も増加傾向が見られました。この結果、売上高は20億52百万円（前年同四半期比4.6%増）となりましたが、セグメント利益は販管費の増加もあり1億57百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

第1四半期時点で遅れていた補修、消耗品の出荷が始まり、売上高は71百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益も1百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業では、引き続き競合店の出店やWeb通販業者の伸長など厳しい環境が続いておりますが、品揃と接客品質の向上、販売促進を行った結果、売上高は8億60百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント損失は21百万円（前年同四半期はセグメント損失38百万円）となりました。

[その他]

太陽光発電事業は現在デイトナ本社に設置した800kWとなります。当第2四半期売上高は、前年同四半期並みとなる22百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は減価償却費が減少したこともあり8百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。なお、現在静岡県沼津市に建設中の500kWの太陽光発電システムは順調に工事が進み、当初の予定どおり9月頃からの売電開始を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、24億89百万円となりました。これは、現金及び預金が1億32百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が1億4百万円、たな卸資産が94百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6.0%増加し、19億85百万円となりました。これは、有形固定資産が1億19百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円増加し、44億75百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13.7%増加し、18億29百万円となりました。これは、短期借入金が2億34百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ12.4%減少し、7億3百万円となりました。これは、長期借入金32百万円、社債が53百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億21百万円増加し、25億32百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2.4%増加し、19億42百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高については、おおむね予想通りの推移となっておりますが、当初予定しておりました修繕や設備導入、支払手数料などの上半期に予定していた費用発生が、第3四半期以降にずれ込んだこと、円高による輸入仕入費用の減少などにより、当初の想定より利益が増えております。

ただし第3四半期以降には、これらの費用も順次発生する見込みですので、現時点では通期予想に修正はありませんが、第3四半期以降の状況を勘案しながら、必要に応じて修正発表を検討してまいります。

なお、今後の為替の進行状況、二輪車の特性上、天候による影響、また、経済環境の不確定要因など、予測が困難な要因により、業績の変動が発生する可能性があります。

※平成28年8月2日付「第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ」にて第2四半期累計期間における業績予想の差異について発表しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579,838	447,277
受取手形及び売掛金	427,816	531,922
たな卸資産	1,258,891	1,353,227
その他	175,654	163,906
貸倒引当金	△6,437	△6,424
流動資産合計	2,435,764	2,489,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	666,947	644,453
土地	864,305	863,532
その他(純額)	243,970	386,252
有形固定資産合計	1,775,222	1,894,238
無形固定資産	66,134	61,703
投資その他の資産		
その他	31,724	30,115
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	30,918	29,310
固定資産合計	1,872,276	1,985,252
資産合計	4,308,040	4,475,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	259,151	294,662
短期借入金	921,587	1,156,400
未払法人税等	98,622	62,827
賞与引当金	21,013	19,607
その他	307,725	295,679
流動負債合計	1,608,100	1,829,177
固定負債		
社債	69,280	15,400
長期借入金	670,589	637,653
退職給付に係る負債	2,713	2,534
その他	60,024	47,735
固定負債合計	802,606	703,322
負債合計	2,410,706	2,532,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,454	412,456
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	1,908,955	1,950,989
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	1,915,462	1,957,498
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	27	-
為替換算調整勘定	△18,156	△18,218
その他の包括利益累計額合計	△18,128	△18,218
新株予約権	-	3,378
非支配株主持分	-	3
純資産合計	1,897,333	1,942,661
負債純資産合計	4,308,040	4,475,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,784,314	2,953,185
売上原価	1,720,850	1,834,276
売上総利益	1,063,464	1,118,909
販売費及び一般管理費	923,834	971,961
営業利益	139,629	146,947
営業外収益		
受取手数料	4,274	5,087
試作品等売却代	5,890	3,396
その他	4,813	4,877
営業外収益合計	14,978	13,361
営業外費用		
支払利息	8,551	6,926
為替差損	4,390	28,049
その他	2,402	2,044
営業外費用合計	15,344	37,021
経常利益	139,264	123,288
特別利益		
固定資産売却益	57	636
特別利益合計	57	636
特別損失		
事業譲渡損	-	979
賃貸借契約解約損	-	1,074
特別損失合計	-	2,054
税金等調整前四半期純利益	139,322	121,870
法人税、住民税及び事業税	73,363	59,482
法人税等調整額	△11,035	△11,238
法人税等合計	62,327	48,243
四半期純利益	76,995	73,626
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,839	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,834	73,603

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	76,995	73,626
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△27
為替換算調整勘定	△885	△82
その他の包括利益合計	△885	△109
四半期包括利益	76,109	73,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,953	73,494
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,843	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	139,322	121,870
減価償却費	59,136	54,682
株式報酬費用	-	3,378
事業譲渡損益(△は益)	-	979
賃貸借契約解約損	-	1,074
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,325	△12
受取利息及び受取配当金	△960	△540
支払利息	8,551	6,926
売上債権の増減額(△は増加)	△173,114	△110,651
たな卸資産の増減額(△は増加)	△31,069	△98,153
仕入債務の増減額(△は減少)	178,862	37,327
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,533	△1,723
その他	△24,311	24,202
小計	135,209	39,361
利息及び配当金の受取額	962	541
利息の支払額	△8,761	△8,439
法人税等の支払額	△84,892	△97,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,517	△65,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,211	△17,214
定期預金の払戻による収入	2,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△34,803	△171,955
有形固定資産の売却による収入	134	755
無形固定資産の取得による支出	△11,742	△5,526
事業譲渡による収入	-	2,000
差入保証金の差入による支出	△34	△1,379
差入保証金の回収による収入	198	458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,058	△190,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	161,750	175,240
長期借入れによる収入	160,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△222,937	△162,796
リース債務の返済による支出	△4,218	△5,158
社債の償還による支出	△58,840	△58,840
配当金の支払額	△29,337	△31,400
その他	-	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,417	117,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,997	△8,338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,121	△147,376
現金及び現金同等物の期首残高	395,378	418,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	379,257	270,879

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月24日 定時株主総会	普通株式	29,464	14.0	平成26年12月31日	平成27年3月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月24日 定時株主総会	普通株式	31,569	15.0	平成27年12月31日	平成28年3月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,923,389	55,813	782,862	2,762,066	22,248	2,784,314	—	2,784,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,832	13,801	135	51,768	—	51,768	△51,768	—
計	1,961,222	69,614	782,998	2,813,835	22,248	2,836,083	△51,768	2,784,314
セグメント利益又は損失 (△)	177,253	△7,387	△38,713	131,152	8,586	139,739	△109	139,629

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△109千円は、セグメント間取引消去406千円、たな卸資産の調整額△984千円、固定資産の調整額437千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,017,223	53,568	859,974	2,930,767	22,418	2,953,185	—	2,953,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,192	17,493	35	52,721	—	52,721	△52,721	—
計	2,052,416	71,062	860,010	2,983,488	22,418	3,005,907	△52,721	2,953,185
セグメント利益又は損失 (△)	157,389	1,834	△21,984	137,239	8,868	146,108	839	146,947

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額839千円は、セグメント間取引消去△35千円、たな卸資産の調整額542千円、固定資産の調整額333千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。